

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026年5月20日

訪日外客数（2026年4月推計値）

◇4月：3,692,200人、2026年の単月最高を記録

- 4月の訪日外客数は3,692,200人で、前年同月比では5.5%減となったものの、2026年の単月としては最高を記録するとともに、2年連続で4月までの累計で1,400万人を超えた。
- イースター休暇の期ずれにより欧州を中心に訪日需要が3月下旬と4月上旬に分散したものの、桜シーズンに合わせた訪日需要の高まりもあり、東アジアでは韓国、東南アジアではベトナム、欧米豪では米国などで訪日外客数が増加した。
- 韓国、台湾、ベトナムなど9市場で4月として過去最高を記録した。そのうちフランスでは単月過去最高を記録した。
- 2026年3月に策定された第5次観光立国推進基本計画では、リピーター数を含めた旅行者数・旅行消費額・地方部延べ宿泊者数など政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2026年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 4月として過去最高の9市場は韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、ベトナム、インド、米国、フランス、ロシア。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2026年 訪日外客数・出国日本人数

2026 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization (JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2025	2026	伸率 Change %	2025	2026	伸率 Change %
1 Jan.	3,781,629 (3,455,149)	3,597,881 (3,242,173)	-4.9 (-6.2)	912,298	1,072,602	17.6
2 Feb.	3,258,491 (2,965,065)	3,466,848 (3,215,752)	6.4 (8.5)	1,181,062	1,093,250	-7.4
3 Mar.	3,497,755 (3,149,434)	3,618,900 *	3.5 *	1,423,449	1,519,000	6.7
4 Apr.	3,909,128 (3,587,187)	3,692,200 *	-5.5 *	961,386	1,042,100 *	8.4 *
5 May	3,693,587 (3,368,573)			1,076,756		
6 Jun.	3,377,985 (3,110,559)			1,054,045		
7 Jul.	3,437,118 (3,161,501)			1,205,435		
8 Aug.	3,428,406 (3,072,139)			1,648,279		
9 Sep.	3,267,228 (2,893,816)			1,394,525		
10 Oct.	3,896,524 (3,579,441)			1,243,575		
11 Nov.	3,518,195 (3,224,810)			1,330,014		
12 Dec.	3,617,791 (3,395,228)			1,300,741		
1~4 Jan.-Apr.	14,447,003 (13,156,835)	14,375,800 *	-0.5 *	4,478,195	4,727,000 *	5.6 *
1~12 Jan.-Dec.	42,683,837 (38,962,902)			14,731,565		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan.
Crew members are excluded.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

◆Note 5. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

2026年4月 訪日外客数 (JNTO推計値) (対2025年比)

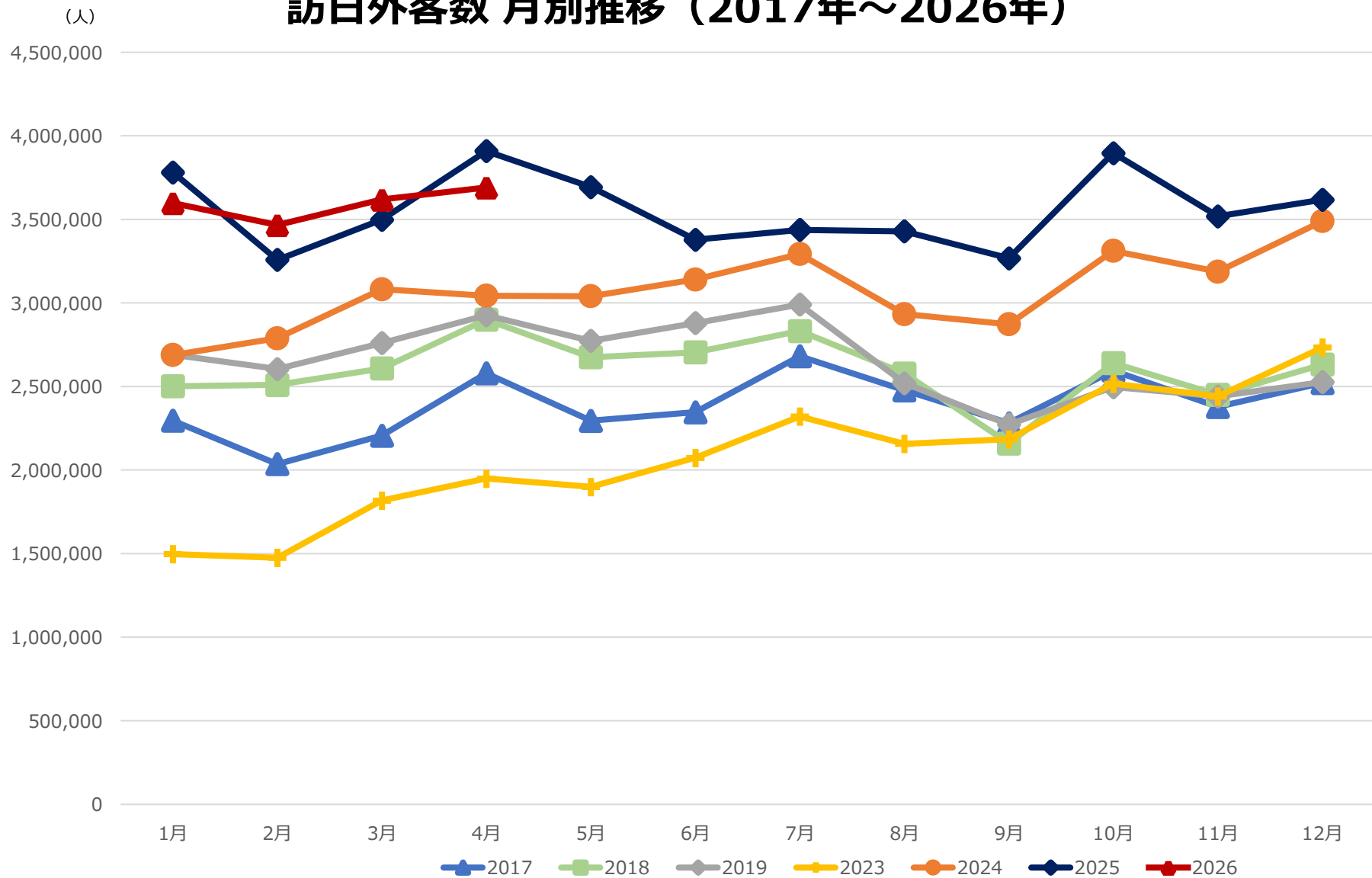
Visitor Arrivals for Apr. 2026 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2025)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2025年 4月	2026年 4月	伸率(%)	2025年 1月～4月	2026年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,909,128	3,692,200	-5.5	14,447,003	14,375,800	-0.5
韓国	South Korea	721,672	878,600	21.7	3,227,855	3,936,700	22.0
中国	China	765,189	330,700	-56.8	3,130,450	1,404,300	-55.1
台湾	Taiwan	537,638	643,500	19.7	2,161,301	2,685,000	24.2
香港	Hong Kong	263,649	226,000	-14.3	911,248	876,300	-3.8
タイ	Thailand	158,470	164,800	4.0	520,304	557,800	7.2
シンガポール	Singapore	59,996	62,900	4.8	213,270	233,700	9.6
マレーシア	Malaysia	51,159	60,400	18.1	244,130	269,200	10.3
インドネシア	Indonesia	61,380	62,200	1.3	232,235	270,200	16.3
フィリピン	Philippines	90,973	88,400	-2.8	302,189	329,400	9.0
ベトナム	Vietnam	64,089	76,000	18.6	252,440	282,000	11.7
インド	India	37,352	41,900	12.2	99,463	117,700	18.3
豪州	Australia	115,235	102,500	-11.1	428,948	447,100	4.2
米国	U.S.A.	327,542	330,000	0.8	1,044,344	1,133,400	8.5
カナダ	Canada	72,587	70,300	-3.2	227,468	249,500	9.7
メキシコ	Mexico	21,793	21,200	-2.7	56,521	76,600	35.5
英国	United Kingdom	69,496	59,900	-13.8	185,422	195,300	5.3
フランス	France	57,066	59,200	3.7	136,577	150,700	10.3
ドイツ	Germany	57,188	48,500	-15.2	136,632	147,300	7.8
イタリア	Italy	45,592	30,000	-34.2	90,935	85,700	-5.8
スペイン	Spain	24,248	19,000	-21.6	59,302	63,600	7.2
ロシア	Russia	23,170	25,800	11.4	52,592	67,000	27.4
北欧地域	Nordic Countries	22,760	19,900	-12.6	60,552	69,800	15.3
中東地域	Middle East	28,363	22,300	-21.4	75,122	66,500	-11.5
その他	Others	232,521	248,200	6.7	597,703	661,000	10.6

- ◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。
- ◆注2：上記の2025年の数値は暫定値、2026年の数値は推計値である。
- ◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。
訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
- ◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。
- ◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)を指す。

- ◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.
- ◆Note 2. Above figures for 2025 are provisional, while figures for 2026 are the preliminary ones estimated by JNTO.
- ◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.
- ◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.
- ◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移 (2017年~2026年)



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年~2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

- 注) 訪日外客数は2026年4月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2026年5月14日時点)として
いる。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航
空路線で2026年4月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。
- 注) 多くの市場において円安傾向が継続している。
- 注) 4月は例年桜シーズンによる訪日需要の高まりにより、多くの市場で訪日旅行者が多くなる傾向にある。
- 注) 欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となってい
る。

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、878,600人(前年同月比21.7%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、釜山～
下地島間の新規就航や仁川～成田間、仁川～仙台間の増便の影響等もあり、訪日外客数は4
月として過去最高を記録した。
- **中国**は、330,700人(前年同月比56.8%減)であった。訪日需要が落ち着く時期であることに
加え、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があった。航空便の減便の影響等も
あり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- **台湾**は、643,500人(前年同月比19.7%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、台北桃
園～福岡間、台中～成田間の増便、台北桃園～富山間のチャーター便の運航や4連休の影響
等もあり、訪日外客数は4月として過去最高を記録した。
- **香港**は、226,000人(前年同月比14.3%減)であった。前年同月と比較して航空座席数が減少
したことやイースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影
響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

② 東南アジア

- **タイ**は、164,800人(前年同月比4.0%増)であった。訪中旅行の継続的な人気の影響等があ
るものの、ソクランや、2025年12月のバンコク～仙台間の復便の影響等もあり、訪日外
客数は前年同月を上回った。
- **シンガポール**は、62,900人(前年同月比4.8%増)であった。訪中旅行の継続的な人気の影響
等があるものの、祝日、シンガポール～羽田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は4月と

して過去最高を記録した。

- マレーシアは、60,400人（前年同月比18.1%増）であった。訪中旅行の継続的な人気や断食明け休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月中旬に見られたことの影響等があるものの、クアラルンプール～関西間での直行便数の増加の影響等もあり、訪日外客数は4月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、62,200人（前年同月比1.3%増）であった。断食明け休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月中旬に見られたことの影響等があるものの、継続する訪日旅行人気が影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- フィリピンは、88,400人（前年同月比2.8%減）であった。スクールホリデーの影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- ベトナムは、76,000人（前年同月比18.6%増）※であった。訪中旅行の継続的な人気が影響等があるものの、祝日、ハノイ～静岡間の新規就航の影響等もあり、訪日外客数は4月として過去最高を記録した。
 - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。
- インドは、41,900人（前年同月比12.2%増）であった。デリー～羽田間、ムンバイ～成田間の増便、2026年1月のデリー～成田間での新規就航の影響等もあり、訪日外客数は4月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、102,500人（前年同月比11.1%減）であった。継続する訪日旅行人気が影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- 米国は、330,000人（前年同月比0.8%増）であった。イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等があるものの、継続する訪日旅行人気が影響等もあり、訪日外客数は4月として過去最高を記録した。
- カナダは、70,300人（前年同月比3.2%減）であった。4月下旬の大学生による訪日需要の高まりの影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- メキシコは、21,200人（前年同月比2.7%減）であった。経路便の多様化や継続する訪日旅行

人気の影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

3. 欧州

- **英国**は、59,900人（前年同月比 13.8%減）であった。継続する訪日旅行人気の影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- **フランス**は、59,200人（前年同月比 3.7%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、スクールホリデーを利用した訪日需要の高まりの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、48,500人（前年同月比 15.2%減）であった。継続する訪日旅行人気の影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- **イタリア**は、30,000人（前年同月比 34.2%減）であった。継続する訪日旅行人気の影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- **スペイン**は、19,000人（前年同月比 21.6%減）であった。継続する訪日旅行人気やマドリッド～成田間の期間増便の影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- **ロシア**は、25,800人（前年同月比 11.4%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、スクールホリデーに加え、経路便の多様化やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は4月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、19,900人（前年同月比 12.6%減）であった。訪日旅行に関する現地での報道の増加や航空座席数の増加の影響等があるものの、イースター休暇の期ずれによる訪日需要の高まりが3月下旬に見られたことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

5. 中東地域

- **中東地域**は、22,300人（前年同月比 21.4%減）であった。継続する訪日旅行人気の影響等は

あるものの、中東情勢による航空便の運休・減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。